

☆☆☆ 生育概況（7月6日調査） と今後の対応☆☆☆

幼穂長調査の結果、生育診断は平均でコシヒカリは7月25日（平均移植日5月5日）、とちぎの星は8月1日（平均移植日5月9日）に出穂期を迎えると予想されます。昨年と比べて、コシヒカリは2日、とちぎの星は1～2日遅くなる見込みとなっています。

出穂前5日の葉色が淡い場合、追肥により品質の低下を防ぎましょう。
イネカメムシ等の適期防除の準備をお願いします。

<早植コシヒカリ> 県内8地点平均

草丈：平年と比較して短い（平年比（以下同）92%）

茎数：平年と比較してやや多い（102%）

葉齢：平年並（平年差（以下同）+0.1）

葉色（葉緑素計）：平年より濃い（+2.1）

<早植とちぎの星> 県内4地点平均

草丈：平年と比較して短い（93%）

茎数：平年と比較してやや多い（104%）

葉齢：平年より0.2（1日程度）進んでいる

葉色（葉緑素計）：平年よりやや濃い（+1.3）

<普通植とちぎの星> 県内2地点平均

草丈：平年と比較してやや長い（平年比（以下同）104%）

茎数：平年より少ない（93%）

葉齢：平年より0.3（1～2日程度）遅れている

葉色（葉緑素計）：平年より濃い（+2.1）

○気象概況

6月下旬は、曇りや雨の日が多くなりました。26日から27日にかけては、東日本付近に停滞した前線や台風第7号と第8号の影響で広い範囲で雨が降り、大雨となった所がありました。30日は湿った空気の影響で、南部では雷を伴い非常に激しい雨の降った所がありました。宇都宮の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました

○生育調査結果

【早植コシヒカリ】県内8カ所

5月中は平年に比べ高温多照で経過したことから生育が旺盛でしたが、6月に入り気温、日照時間が平年並で経過したことから、草丈の伸長が抑制され平年に比べ短くなりました。茎数の増加も抑制されましたが、6月上旬までにかかなり分けつが進んだことから依然として平年よりやや多い状況です（6月8日調査時点で平年比110%、今回102%）。幼穂長、宇都宮気象台の気温データから予測した出穂期はいずれも7月25日となりました。

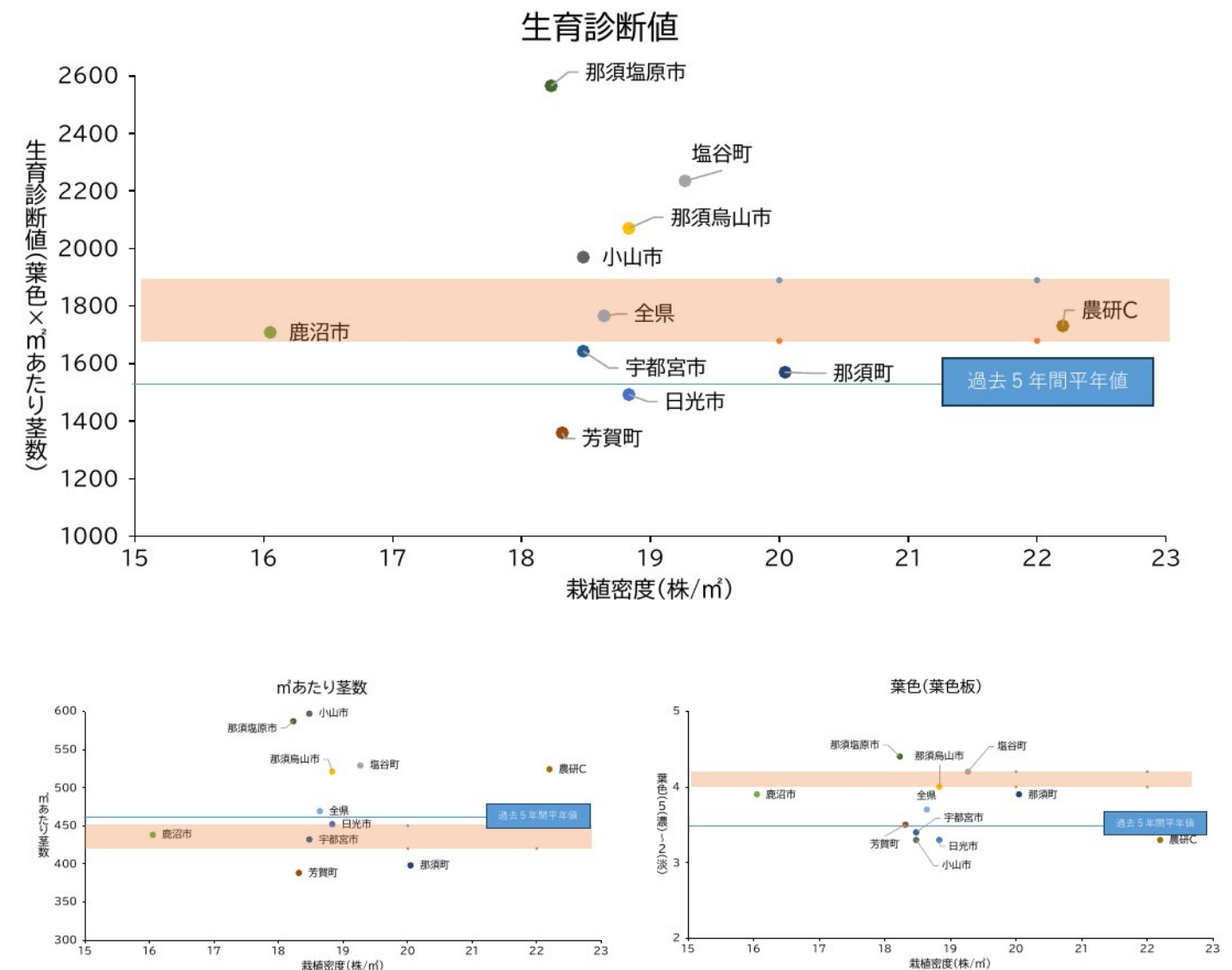
生育診断値（葉色×茎数値）は、鹿沼市、農研センターが適正、那須塩原市、塩谷町、那須烏山市、小山市が適正值を上回り、那須町、日光市、芳賀町、宇都宮市は下回っています。傾向としては、茎数が多い地点では適正值を上回り、葉色が淡い地点で下回りました。茎数が多いと籾数過剰による乳白粒の増加、葉色が淡いと登熟不足による基部未熟粒の増加が懸念されます。出穂期～登熟期が高温で経過すると発生がさらに助長される可能性があります（図1）。

【早植とちぎの星】県内4カ所

とちぎの星も気温の影響により、草丈の伸長が抑制され平年に比べ短くなりました。茎数の増加も抑制されましたが、6月上旬までにかかなり分けつが進んだことから依然として平年よりやや多い状況です（6月8日調査時点で平年比119%、今回104%）。幼穂長から予測した出穂期は7月31日で平年並となる見込みです。

【普通植とちぎの星】県内2カ所

草丈は、平年よりやや長く（104%）、茎数は少なくなりました（93%）。葉齢から見た生育は1～2日程度遅れています。葉緑素計、葉色板による葉色とも濃くなっています。



○農研センター地温の推移

6月の気温が平年並～低く経過したためそれに伴い地温も6月に入り下がりました。特に6月第5半旬以降は平年並に推移しており、前年に比べて低くなっています。生育期間中の地温は平年より高く経過していることから肥効調節型肥料の溶出は若干早まる可能性があります。

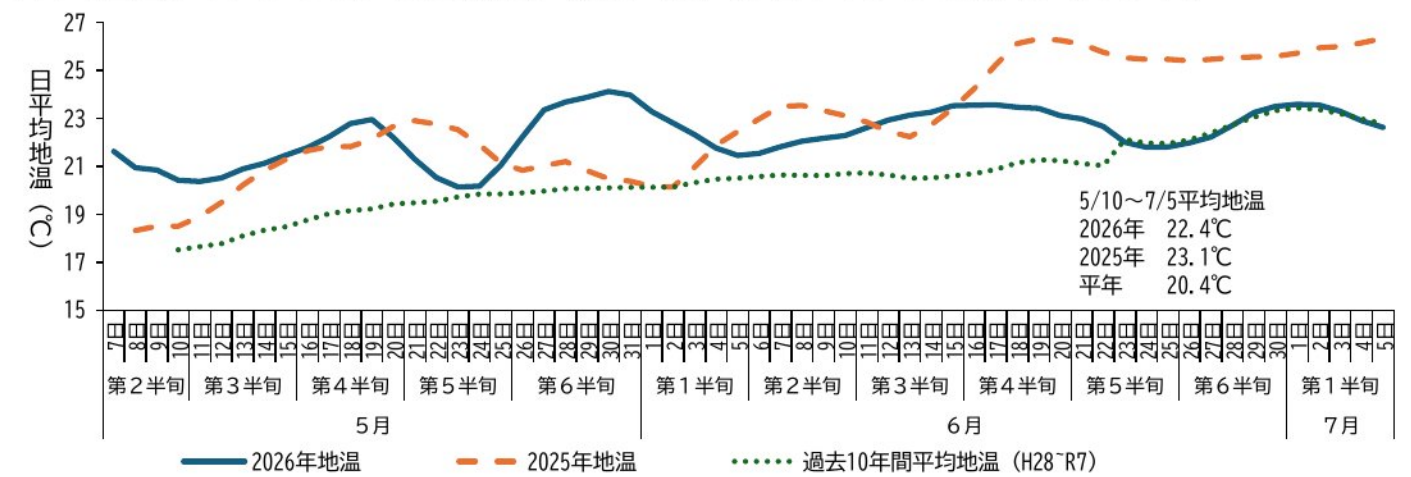


図2 農業総合研究センター水田の地温推移

○令和8（2026）年 水稻の出穂予測について

(1) 幼穂長からの出穂期予測
7月6日に実施した幼穂長調査から推定した出穂期予測を表1に示しました。コシヒカリは、7月24日～7月31日と予測され、県平均では **7月25日**と予測されました。観測史上最も早い出穂期（7月23日出穂）となった **前年より2日遅く出穂**すると予測されます。とちぎの星は、7月30日～8月3日と予想され、平均では8月1日と予測されます。

表1 7月6日調査幼穂長から予測される出穂期

コシヒカリ						
調査場所	幼穂長(mm)	出穂前日数	予測出穂日	前年出穂日	平年出穂日	移植日
那須町寺子内	0.8	-25	7月31日	7月29日	8月2日	5月10日
那須塩原市一区町	7.5	-18	7月24日	7月22日	7月24日	5月2日
塩谷町玉生	10.1	-18	7月24日	7月28日	7月26日	5月4日
那須烏山市南大和久	1.6	-24	7月30日	7月25日	7月25日	5月10日
日光市木和田島	8.5	-18	7月24日	7月21日	7月24日	5月4日
鹿沼市久野	6.8	-18	7月24日	7月19日	7月21日	5月5日
宇都宮市川田町	1.0	-25	7月31日	7月25日	7月25日	5月3日
芳賀町東水沼	0.8	-25	7月31日	7月28日	7月28日	5月5日
小山市生井	3.2	-22	7月28日			5月2日
農業総合研究センター	4.8	-19	7月25日	7月22日	7月24日	5月7日
平均	4.5	-19	7月25日	7月23日	7月25日	5月5日

※ 全地区平均予測出穂日は平均幼穂長から求めた。

とちぎの星

調査場所	幼穂長(mm)	出穂前日数	予測出穂日	前年出穂日	平年出穂日	移植日
さくら市狭間田	0.0	-	-	8月3日	8月1日	5月12日
宇都宮市下桑島町	0.5	-28	8月3日	7月30日	7月30日	5月9日
真岡市清水	0.4	-28	8月3日	7月31日	7月31日	5月9日
農業総合研究センター	1.5	-24	7月30日	7月26日	7月28日	5月7日
平均	0.6	-26	8月1日	7月30日	7月30日	5月9日

※ 全地区平均予測出穂日は平均幼穂長から求めた。

(2) DVR 法による出穂予測

図3にノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測を示しました。宇都宮市で5月4日に移植されたコシヒカリについて7月7日までの気温により出穂を予測しました。なお、7月8日以降は平年値を用いて計算しています。7月8日以降平年並の気温で経過すると、**7月25日**に出穂すると予測されました。7月8日以降、**気温が高め（+2℃）で経過すると7月23日**、**低め（-2℃）で経過すると7月27日**に出穂すると予測されました。

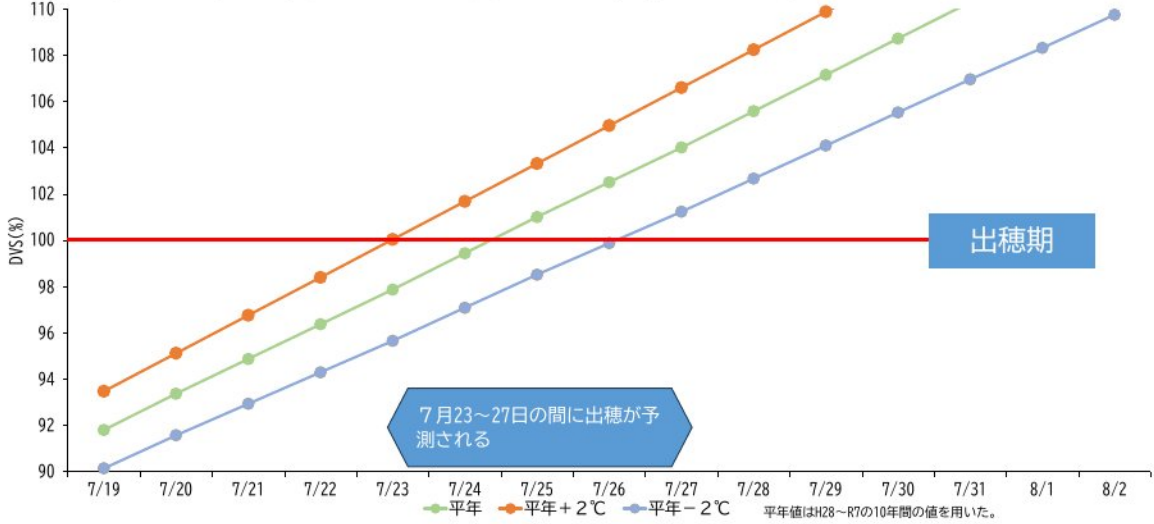


図3 ノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測（7月8日に計算）

(3) メッシュによる出穂予測

コシヒカリの出穂期予測結果について、農業研究センターで、農業気象メッシュ図を作画した結果を図4に示しました。県南部の早いところでは、7月18日頃から出穂が始まる予測となっています。

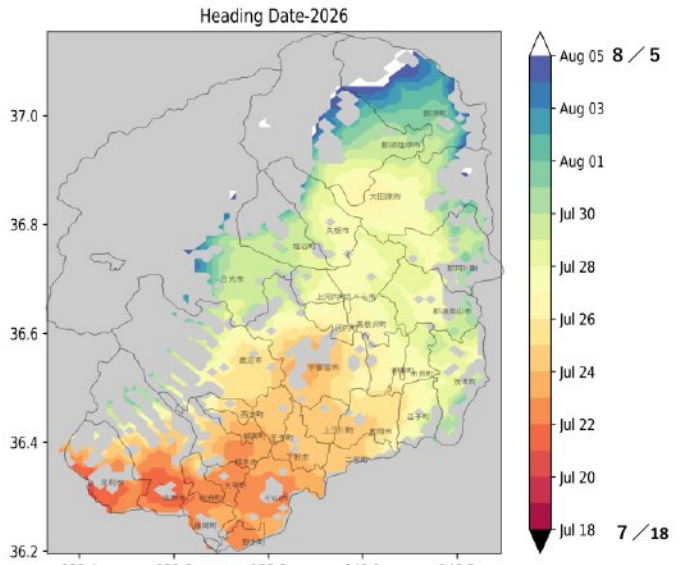


図4 農業気象メッシュで算出した県内出穂期分布（栃木県農業研究センター 5月4日移植で計算）

気象庁 関東甲信地方3か月予報（6月23日発表）

関東甲信地方 3か月予報（07月～09月）		
2026年06月23日14時00分 気象庁 発表		
07月～09月	気温	平均気温は、高い確率50％です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50％です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60％です。
09月	天候	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温、降水量の各階級の確率（％）					
気温	関東甲信地方	07月～09月	10	40	50
		07月	10	40	50
		08月	10	30	60
		09月	30	40	30
降水量	関東甲信地方	07月～09月	30	30	40
		07月	30	40	30
		08月	30	30	40
		09月	30	30	40

低い(少ない)

平年並

高い(多い)

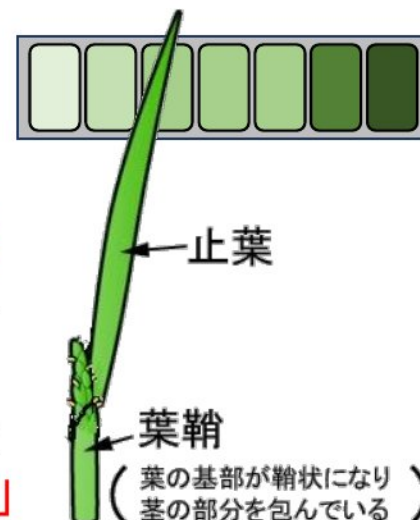
・向こう3か月の平均気温は高い予報です。降水量は平年並または多い予報です。

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 水管理

出穂期の2週間前の減数分裂期は稲の生育の中で最も水が必要な時期です。この時期に干ばつなどで水分が不足すると1穂数や奇形穂が発生しやすくなりますので、水不足にならないように水管理を行いましょう。また、間断かん水を行う際には、高温障害を回避するため水温の低い夜間や早朝に入水を行い、地温の低下に努めましょう。

県南部では、麦作に備え出穂後早めに水を切ってしまう事例がありますが、出穂～登熟中期に水不足になると、水稻品質を著しく低下させますので早期落水は絶対に行わないようにしましょう。



(2) 高温障害による品質低下を回避する施肥について

気象庁の3か月予報によると、**7、8月は高温に経過する**とされています。コシヒカリは、出穂後20日間の平均気温が26℃を超える高温年の場合、出穂期から穂揃期の葉色が薄い場合は白未熟粒が発生しやすくなります。ほ場を観察し葉色が淡くなった時には、品質を低下させないためにも、**出穂前5日（走り穂が出る頃）の止葉葉色がSPAD値で「34」**

以下、葉色板で「3」を下回っていれば出穂期を目安に速効性肥料の窒素成分で**2～3kg/10aの追肥**を行いましょう。前年の高温下でも追肥の効果は確認されています。

(3) 病害虫の防除

ア イネカメムシ対策

令和8年2月に行った越冬状況調査では、発生地域の拡大が確認されたことから、昨年まで被害のなかった地域でも注意が必要です（図5）。

イネカメムシは、出穂期に穂を吸汁することで不稔が発生し減収につながります。また、乳熟期の吸汁は斑点米の発生につながります。

出穂期防除が必須であり、従来の斑点米カメムシ類と防除体系が異なります（図6）。表2にあるような有効な薬剤を使用して適期防除に努めましょう。



写真 出穂した穂

注 意
葉鞘からわずかも穂が出ていれば出穂です。
ほ場全体の4～5割出穂していれば出穂期となります。



写真 イネカメムシ（左：成虫、右：幼虫）

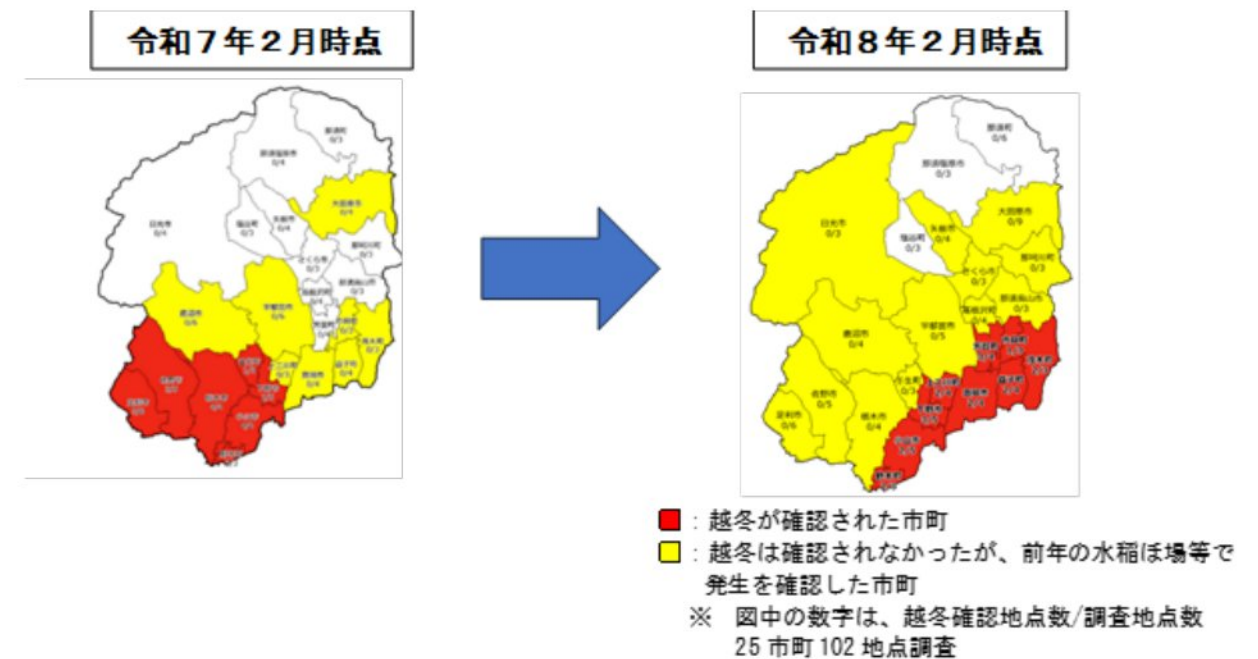


図5 イネカメムシの越冬状況調査結果

イ 斑点米カメムシ類

今年度は、幼穂形成期（出穂 20 日前頃）の日照不足や、登熟前半の高温予報により、割れ
粃の発生増加が懸念されます。割れ粃が増えると、カスミカメ類による斑点米被害を受けやす
くなるため、次の対策を徹底しましょう。

○適期防除の実施

- ・乳熟初期に薬剤防除を実施し、斑点米カメムシ類の被害を防ぎましょう。
- ・ほ場の発生状況に応じて適期散布を行いましょう。

○ほ場周辺の除草

- ・図 6 を参考に、ほ場周辺の除草を行い、斑点米カメムシ類の生息密度を低下させましょう。
- ・日頃から農道や畦畔の草刈りを励行し、発生源の抑制に努めましょう。

○草刈り実施時の注意

- ・出穂期前後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田へ追い込む原因となるため、原則として
避けましょう。
- ・やむを得ず草刈りを行う場合は、水田での薬剤防除の直前に実施しましょう。
- ・水田内のノビエやイヌホタルイ等の雑草も、斑点米カメムシ類の発生源となるため、残草
が見られる場合は除草対策を徹底しましょう。

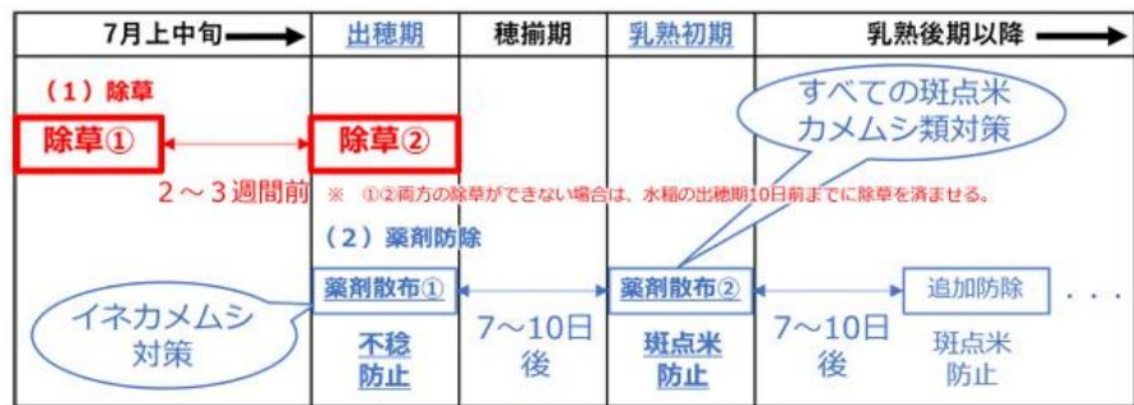


図 6 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除体系

表 2 水稻のカメムシ類に登録のある主な薬剤（令和 8（2026）年 6 月 30 日現在）

農薬名	希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系統	IRAC コード
スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前まで	2回以内	MEP	有機リン系	1B
キラップフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	フェニルピラゾール	2B
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	エトフェンプロックス	ピレスロイド	3A
スタークル液剤10	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジノテフラン	ネオニコチノイド	4A
エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	スルホキサフロル	スルホキシイミン	4C

注 1 IRAC コードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける。

注 2 詳細は、「[栃木県農作物等病害虫雑草防除指針](#)」を参照。

ウ 稲こうじ病

稲こうじ病は出穂前の降雨により発生が助長されます。1 か月予
報で降水量が平年並～多いとされていることから注意が必要です。
特に前年多発したほ場は、防除適期（出穂 20～10 日前）に効果的
な薬剤を散布しましょう。なお、適期を逃すと効果が著しく低下す
るので注意しましょう。



エ いもち病（葉いもち）

令和 8（2026）年度 病害虫発生情報 第 3 号（農業総合研究センター R8.6.19 公表）によ
ると発生は「平年並」予報となっています。

BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果では 6 月 10 日以降に各地で感染好適条件が出
現しています。（<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/documents/yohou202606.pdf>）

いもち病は気温 25℃～28℃で湿度の高い条件で感染拡大が進みますので、ほ場を良く見回り、
早期発見・早期防除に努めましょう。

表 3 BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果（令和 8 年度）

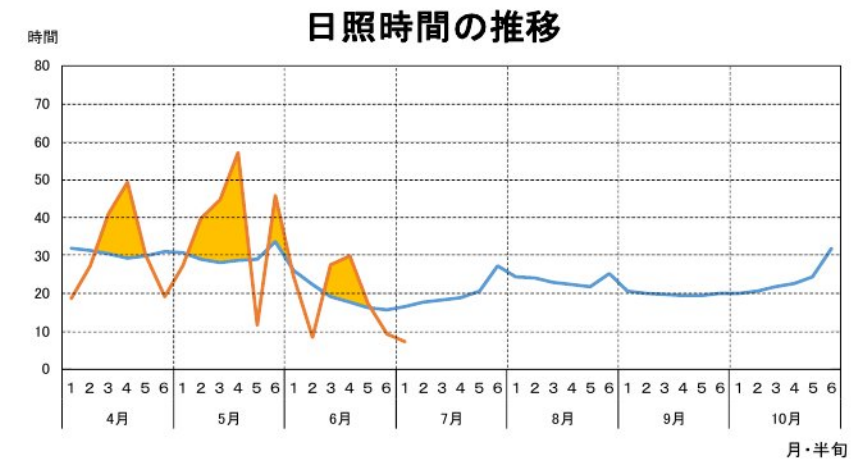
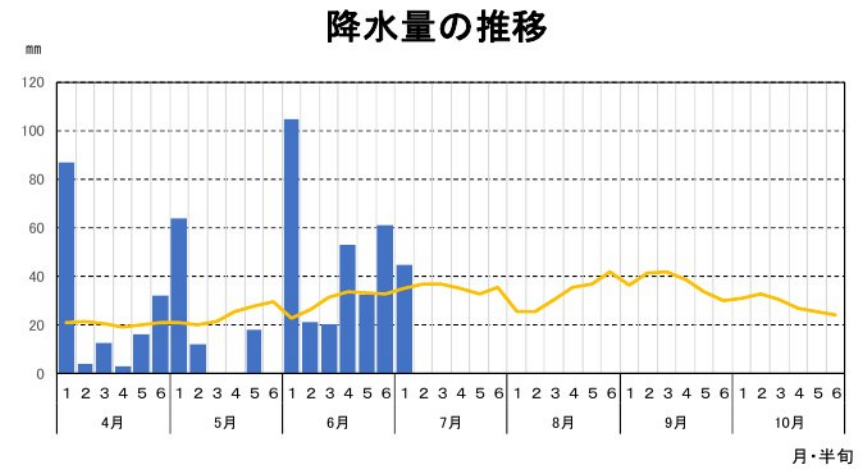
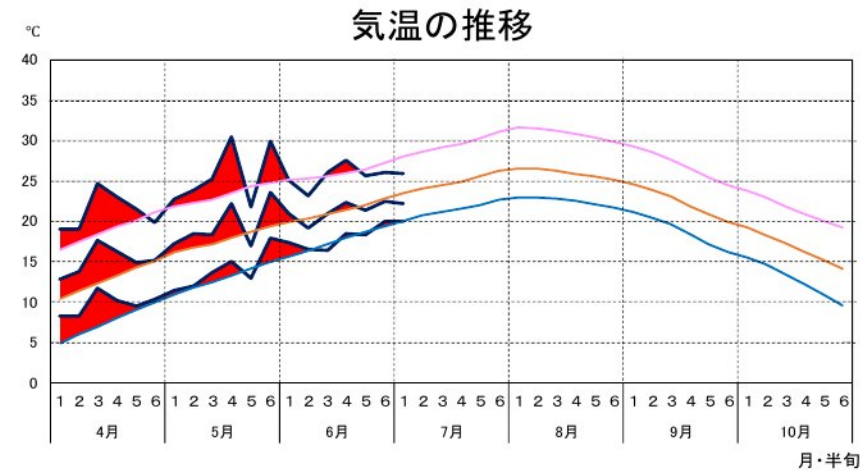
	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月20日	●	●	●	—	●	4	—	●	—
6月21日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月22日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月23日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月24日	4	●	4	—	4	—	—	—	—
6月25日	1	—	1	—	—	—	—	—	—
6月26日	1	●	1	●	4	—	●	●	●
6月27日	—	●	—	—	—	—	—	—	—
6月28日	—	●	—	—	—	—	—	—	—
6月29日	—	—	—	—	●	—	—	●	●
6月30日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7月1日	—	—	—	—	—	●	—	—	●
7月2日	—	—	—	—	—	—	—	●	—
7月3日	●	—	4	—	—	—	—	—	—
7月4日	●	4	—	—	—	●	●	—	—
7月5日	●	—	—	—	—	—	—	●	—
7月6日	●	—	—	—	—	—	—	●	—
7月7日	4	—	4	—	—	—	—	—	—

発生指標	？：判定不 能	—：好適条 件なし	1：準好適 条件1	2：準好適 条件2	3：準好適 条件3	4：準好適 条件4	●：好適条 件
------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------

2026年 気象経過グラフ

AMeDAS地点 宇都宮アメダス

【暖候期グラフ】



農政部経営技術課

自：令和8年4月1日

至：令和8年7月8日

		本年	平年	平年比／差
4月	平均気温(°C)	13.3	10.9	2.4℃
	降水量(mm)	91	41.3	220.3%
	日照時間(h)	45.9	64	71.7%
中旬	平均気温(°C)	16.9	12.8	4.1℃
	降水量(mm)	15.5	38.1	40.7%
	日照時間(h)	90.1	58.9	153.0%
下旬	平均気温(°C)	15	14.6	0.4℃
	降水量(mm)	48	42.1	114.0%
	日照時間(h)	49.2	62	79.4%

		本年	平年	平年比／差
5月	平均気温(°C)	17.8	16.6	1.2℃
	降水量(mm)	76	39	194.9%
	日照時間(h)	66.9	58.8	113.8%
中旬	平均気温(°C)	20.3	17.5	2.8℃
	降水量(mm)	0	45.9	0.0%
	日照時間(h)	101.8	54.5	186.8%
下旬	平均気温(°C)	20.5	19.2	1.3℃
	降水量(mm)	18	64.3	28.0%
	日照時間(h)	57.5	62	92.7%

		本年	平年	平年比／差
6月	平均気温(°C)	20	20.1	-0.1℃
	降水量(mm)	126	43.6	289.0%
	日照時間(h)	33	52	63.5%
中旬	平均気温(°C)	21.6	21.2	0.4℃
	降水量(mm)	73.5	69.2	106.2%
	日照時間(h)	57.3	37.1	154.4%
下旬	平均気温(°C)	21.9	22.3	-0.4℃
	降水量(mm)	93.5	62.4	149.8%
	日照時間(h)	26.5	29.3	90.4%

		本年	平年	平年比／差
7月	平均気温(°C)	22.3	23.7	-1.4℃
	降水量(mm)	46.5	76.3	60.9%
	日照時間(h)	10.4	34.3	30.3%
中旬	平均気温(°C)			
	降水量(mm)			
	日照時間(h)			
下旬	平均気温(°C)			
	降水量(mm)			
	日照時間(h)			

【参考データ】

〔早植コシヒカリ：本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1 株本数 (本/株)			茎 数 (本/m ²)			葉 齢(葉)			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数			幼穂長 (mm)		
		本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	差	本 年	平 年	差	本 年	平 年	差	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	差
1	那須町寺子丙	53.3	66.7	80%	19.9	23.7	84%	398	436	91%	9.9	11.0	-1.1	33.9	34.4	-0.6	3.9	3.5	0.4	1,570	1,526	103%	0.8	0.3	0.4
2	那須塩原市一区町	71.7	78.4	91%	32.2	27.0	119%	587	482	122%	11.9	12.5	-0.6	33.8	31.4	2.4	4.4	3.6	0.7	2,566	1,758	146%	7.5	5.9	1.6
3	塩谷町玉生	72.2	73.0	99%	27.5	25.2	109%	529	450	117%	11.8	11.2	0.6	36.8	37.5	-0.7	4.2	3.7	0.5	2,235	1,647	136%	10.1	3.8	6.3
4	那須烏山市南大和久	70.7	91.4	77%	27.7	24.1	115%	521	443	118%	11.3	11.9	-0.6	33.5	32.4	1.1	4.0	4.1	-0.1	2,070	1,816	114%	1.6	16.4	-14.8
5	日光市木和田島	68.2	75.4	90%	24.0	24.9	96%	452	480	94%	12.1	11.3	0.8	37.2	32.3	4.9	3.3	2.9	0.4	1,492	1,390	107%	8.5	13.0	-4.5
6	鹿沼市久野	73.2	77.3	95%	27.3	26.1	105%	438	419	105%	12.5	11.7	0.8	40.2	38.0	2.2	3.9	3.9	0.0	1,709	1,648	104%	6.8	21.4	-14.6
7	宇都宮市川田町	69.0	78.4	88%	23.4	25.9	90%	432	458	94%	11.7	11.9	-0.2	35.6	33.8	1.8	3.4	3.6	-0.2	1,470	1,643	89%	1.0	2.4	-1.4
8	芳賀町東水沼	72.3	75.7	95%	21.2	23.9	89%	388	454	86%	12.5	12.2	0.3	38.5	37.0	1.5	3.5	3.4	0.1	1,359	1,544	88%	0.8	1.7	-0.9
9	小山市生井	78.6			32.3			597			12.2			37.5			3.3			1,970			3.2		
10	農業総合研究センター	72.3	78.1	93%	23.6	22.1	107%	524	489	107%	11.7	11.5	0.2	36.5	31.4	5.1	3.3	3.1	0.2	1,731	1,559	111%	4.8	4.2	0.7
平均	全量基肥平均	69.0	75.4	92%	24.9	24.8	100%	469	459	102%	11.8	11.7	0.1	36.6	34.5	2.1	3.7	3.5	0.3	1,766	1,589	111%	5.0	6.6	0.8
分施	農業総合研究センター	69.9	77.2	90%	22.8	22.3	102%	506	495	102%	11.5	11.7	-0.2	33.4	29.6	3.8	3.0	2.9	0.1	1,518	1,433	106%	5.3	5.4	-0.2

平年値について令和3～7年の5カ年平均。
 那須烏山市は令和7年には場が変更になったため前年値との比較。また、移植日が大幅に遅れたため平均から除する。
 小山市は令和8年には場が変更になったため過去値との比較は行わない。また、全体平均からも除する。

※葉色は葉色板の数値
 単位注意 (mm)

〔早植とちぎの星：本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数 (本/m ²)			葉 齢			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数			幼穂長 (mm)		
		本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	差	本 年	平 年	差	本 年	平 年	差	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	差
11	さくら市狭間田	62.8	68.2	92%	27.0	26.5	102%	497	449	111%	11.5	11.1	0.4	35.6	37.3	-1.6	4.3	3.7	0.6	2,146	1,660	129%	0.0	0.6	-0.6
12	宇都宮市下桑島町	74.3	76.5	97%	28.7	25.9	111%	568	480	118%	12.5	11.8	0.7	43.8	40.5	3.3	4.3	3.6	0.7	2,440	1,724	142%	0.5	0.4	0.1
13	真岡市清水	62.3	69.8	89%	28.7	25.8	111%	531	527	101%	10.8	11.3	-0.5	36.8	38.1	-1.3	3.5	3.5	0.0	1,860	1,853	100%	0.4	0.3	0.1
14	農業総合研究センター	67.4	71.8	94%	22.0	24.7	89%	489	548	89%	11.3	11.0	0.3	39.4	34.4	5.0	3.3	3.1	0.2	1,613	1,746	92%	1.5	1.7	-0.2
平均	早植平均	66.7	71.6	93%	26.6	25.7	103%	521	501	104%	11.5	11.3	0.2	38.9	37.6	1.3	3.9	3.5	0.4	2,015	1,746	115%	0.6	0.8	-0.2

平年値について令和3～7年の5カ年平均。
 宇都宮市は令和5年には場が変更になったため3カ年平均。

※葉色は葉色板の数値
 単位注意 (mm)

〔普通植とちぎの星：本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数(本/㎡)			葉 齢			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数		
		本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	比(%)	本 年	平 年	差	本 年	平 年	差	本 年	平 年	差	本 年	平 年	比(%)
○5月下旬植え																						
15	栃木市皆川	61.0	60.4	101%	25.4	27.5	93%	465	472	99%	10.1	9.9	0.2	45.8	41.4	4.4	4.5	4.3	0.2	2,106	2,021	104%
○6月中旬植え																						
16	佐野市堀米町	34.6	31.6	109%	7.9	10.5	76%	152	194	78%	6.7	7.5	-0.8	40.4	40.6	-0.2	4.5	4.1	0.4	686	810	85%
平均	普通植平均	47.8	46.0	104%	16.7	19.0	88%	309	333	93%	8.4	8.7	-0.3	43.1	41.0	2.1	4.5	4.2	0.3	1,396	1,415	99%

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

※葉色は葉色板の数値

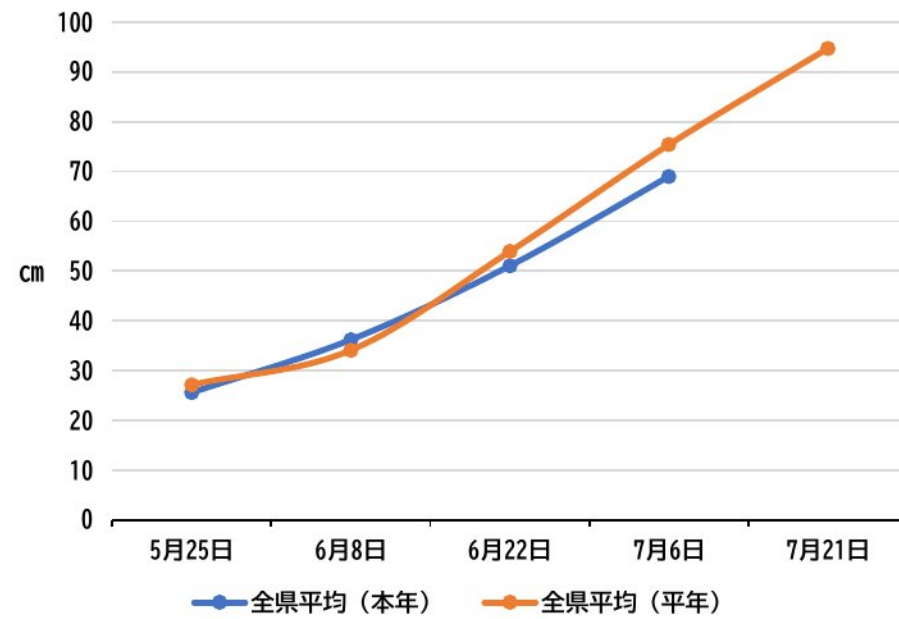
7月6日調査
表 R8移植後60日（7月6日）の生育調査

処理	葉面積 (m ² /m ²)			乾物重 (g/m ²)		
	本年	平年	比 (%)	本年	平年	比 (%)
コシヒカリ・0.0	1.72	2.36	73	239	335	71
コシヒカリ・0.3	2.69	3.79	71	366	510	72
コシヒカリ・0.5 (全基)	2.89	3.48	83	357	452	79
とちぎの星・0.6 (全基)	2.72	3.84	71	349	493	71
とちぎの星・0.5	3.88	4.89	79	465	567	82

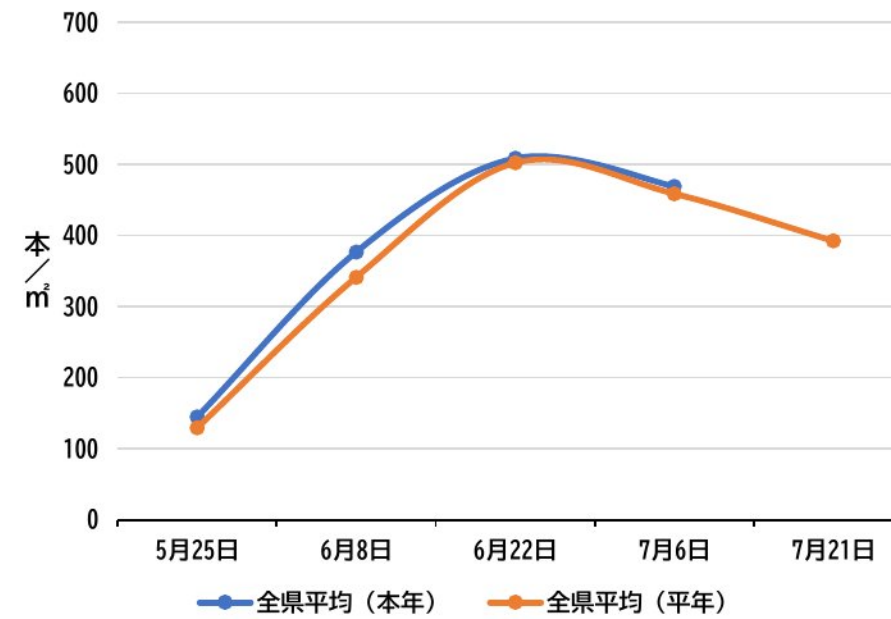
平年値について令和3～7年の5カ年平均。

2026 年 生育診断ほ「コシヒカリ」生育経過（7月6日）

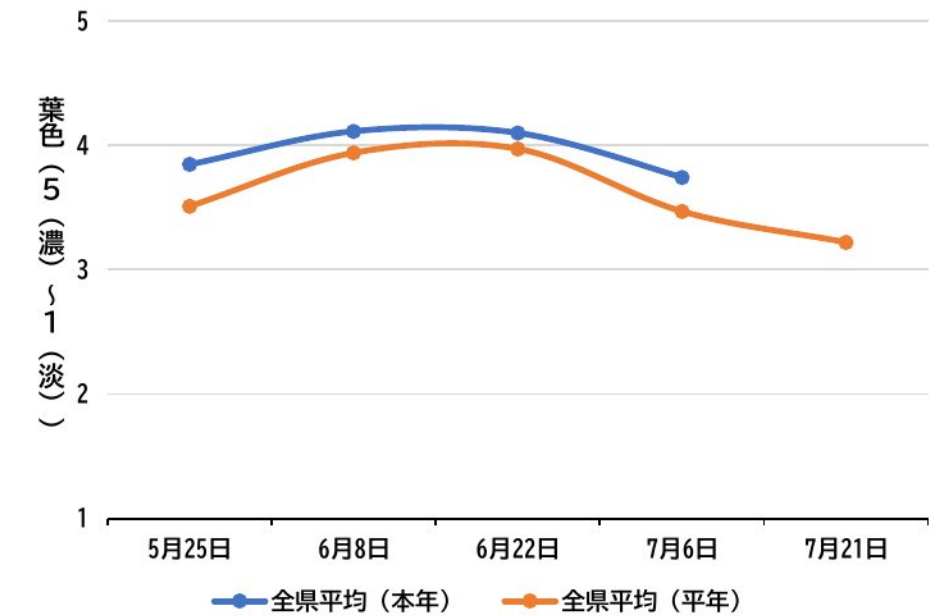
草丈の推移



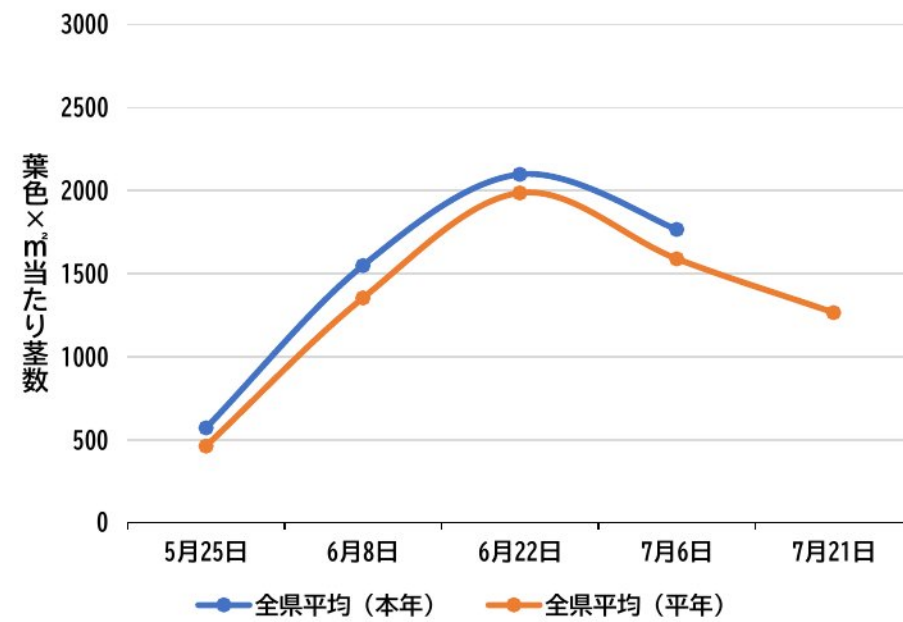
茎数の推移



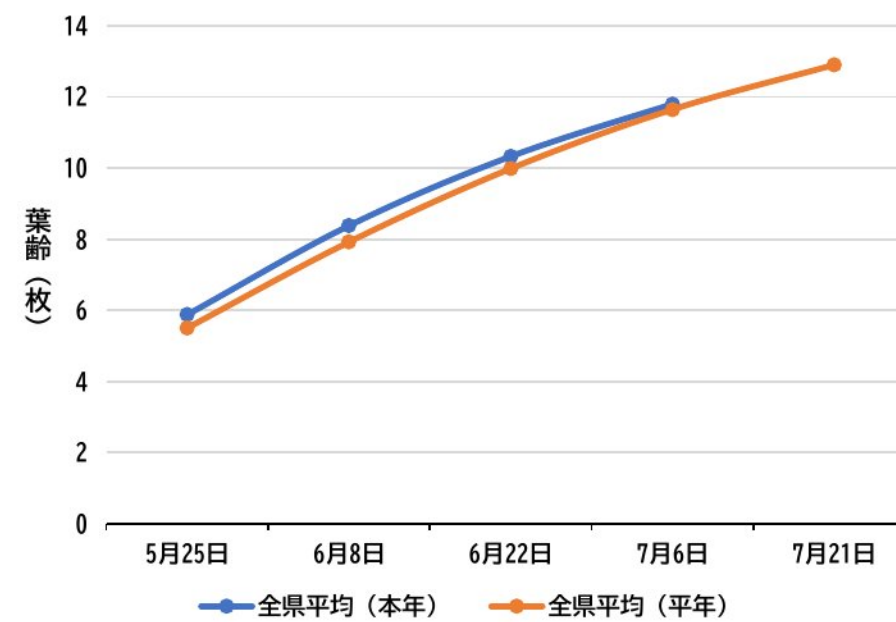
葉色（葉色板）の推移



生育診断値の推移

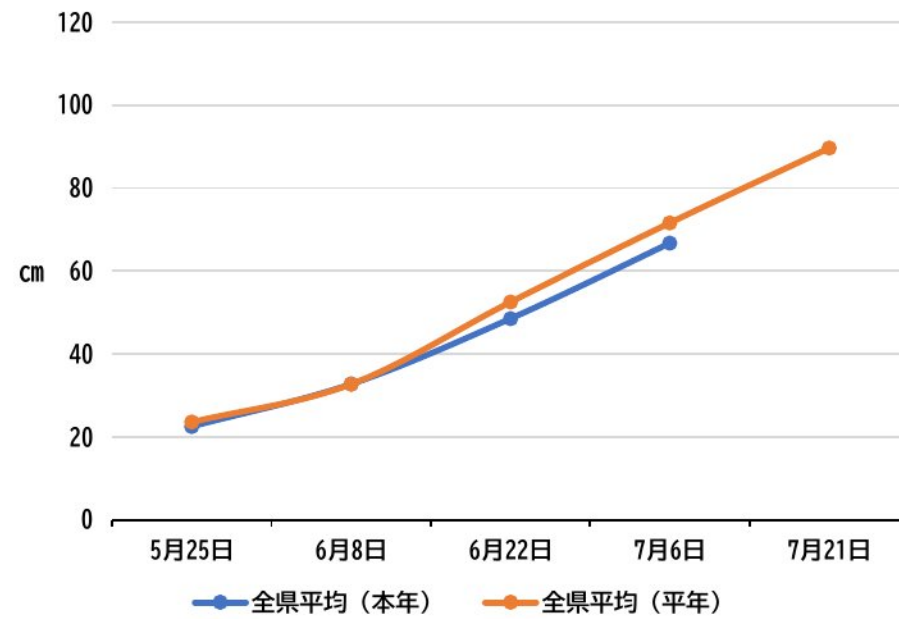


葉齢の推移

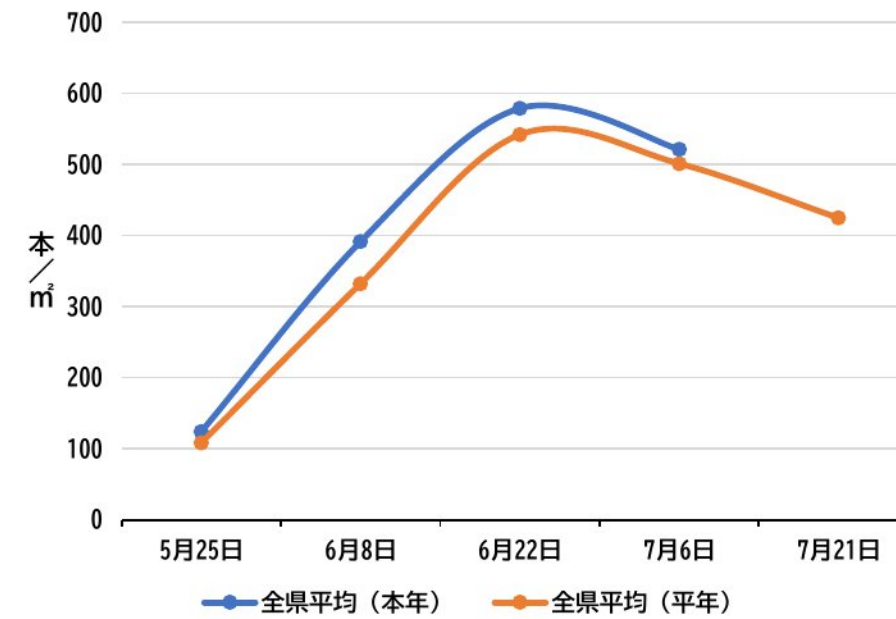


2026 年 生育診断ほ「とちぎの星」生育経過（7月6日）

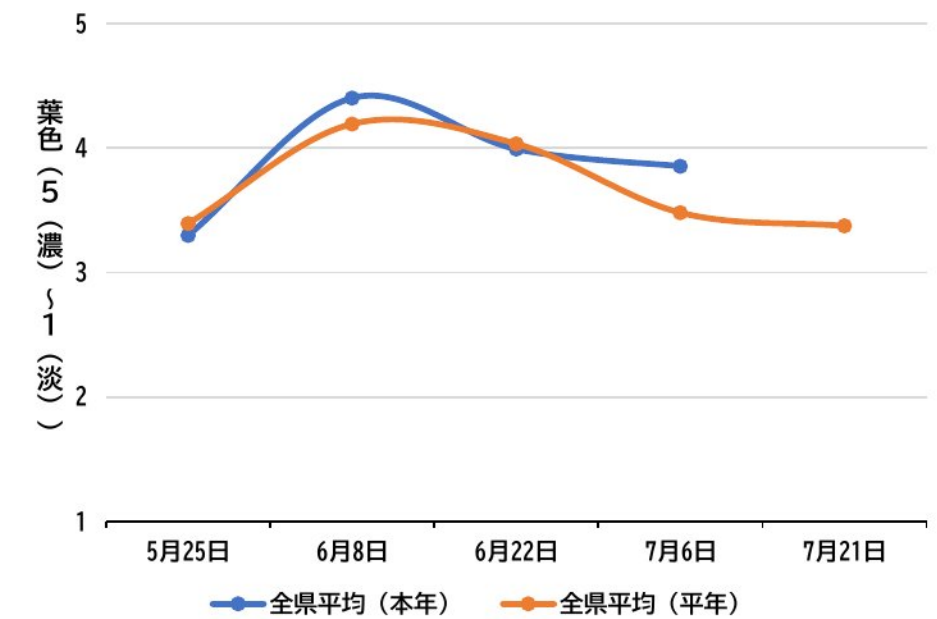
草丈の推移



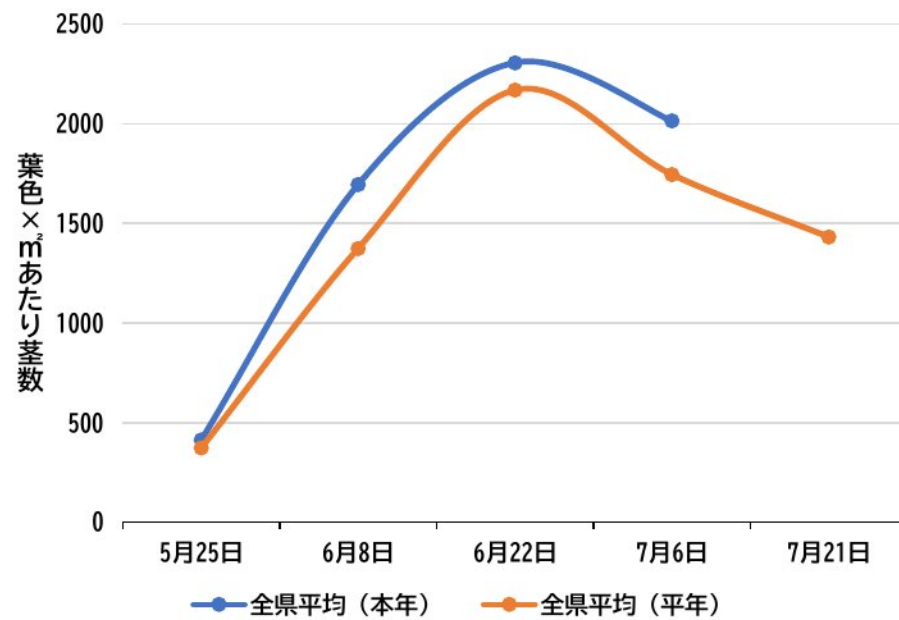
茎数の推移



葉色（葉色板）の推移



生育診断値の推移



葉齢の推移

